

10月6日(木曜日) 明日チャレ!スクール

「明日チャレ!スクール」は、子供たちがパラアスリートに直に触れ、気づきと学びの機会を提供できるよう全国の小中高等学校を対象に行う体験型授業です。今日はシドニーパラリンピック車いすバスケットボール日本代表キャプテンを務めた根木慎志(ねぎしんじ)さんが、車いすバスケットボールを通して1・2年生に「障害とは何か」「可能性に挑戦する勇気」等についてお話をしました。



10月13日(木曜日)に合唱コンクールの保護者公開

14日(金曜日)にコンクール(生徒発表)が実施されました。保護者公開日は感染症対策のため、お子さんの学年の発表のみの参観とさせていただきましたが、それでもたくさんの保護者の方に来ていただきました。どの学級もクラスの個性を生かした見事な合唱を披露し、聴衆に感動を与えていました。また、[Googleフォーム](#)でご覧になった感想をお願いしたところ、たくさんの感想をいただきましたので、紹介させていただきます。

〈保護者の皆さまからお寄せいただいた感想〉

○生徒達の声がよく出ていてとても良かったです。出来れば、もう一曲程聴きたいと思いました。来年の開催も楽しみにしています。

○子供達が頑張って練習した歌声は、聞いていると応援歌のように聞こえてきました。心に響く素晴らしい歌声でした。全学年聞きたいと思いました。

○下の子がいたため、1組の合唱しか聞けませんでした。とても綺麗で素晴らしかったです。家でも練習していて、頑張っていたのでみんなで頑張っている姿をみて本当に感動してウルっときてしまいました。またみんなの綺麗な歌声を聞きたいです。お疲れ様でした。

○思春期とは思えない程、よく声が出ていてどの生徒も一生懸命でした。素敵な時間になりました。ありがとうございました。

○練習時から話を聞いていたのもあるのですが…色々な困難を乗り越えて、みんなで作り上げた気持ちのこもった素敵なハーモニーでした。音楽の先生のご指導、先生方からのアドバイスを活かし、仲間と協力し合いながらの合唱、一生懸命取り組む姿にも感動しました。我が子それぞれの成長が見られたのも良かったです。マスクは残念でしたが、合唱は本当に素晴らしかったです♪



10月18日(火曜日) 18時55分 東日本放送より

「ど根性ひまわり」が架け橋に 宮城・石巻市と兵庫県の中学生が交流震災後の宮城県石巻市で、津波に負けず開花した「ど根性ひまわり」が架け橋となり、石巻市の桃生中学校と兵庫県の中学校の交流が始まりました。

交流会はオンラインで行われ、それぞれの中学校の生徒会メンバー約30人がこれからの交流会で取り組んでみたいことを話し合いました。

「東日本大震災と阪神淡路大震災を経験した県として、避難所運営ゲームっていうのがあるんですけど、それを一緒にできたらいいなって」

この交流会は、兵庫県で「ど根性ひまわり」の種を広める取り組みを続けている森田和彦さんが、兵庫県高砂市の竜山中学校と桃生中学校をつないだことがきっかけで始まりました。

竜山中学校では6月にヒマワリの種をまき、8月に開花しました。

桃生中学校1年生「この宮城県と兵庫県で繋がったきっかけを他の県でも、被災経験のない地域にも広げていけるように交流しながら努力していきたいです」

2023年1月には、阪神淡路大震災の教材を使って両校合同でリモート授業を開催する予定です。ニュースの映像はこちら <https://www.khb-tv.co.jp/news/14745958>



10月23日 10時0分 石巻かほく より

被災の記憶を共有 石巻・桃生中生、兵庫の生徒と交流

石巻市桃生中(生徒178人)の生徒会役員ら15人が18日、兵庫県高砂市の竜山中の生徒とリモートで交流した。交流会は東日本大震災で被災した石巻市南浜地区で咲いたヒマワリの種を兵庫県で広めている森田和彦さん=三木市=が橋渡しとなり実現。甚大な被害があった阪神大震災、東日本大震災の被災地の中学校としてできることを探った。



〈タブレットで桃生地区のことを紹介する桃生中の生徒〉

交流会では互いの生徒会役員らが自己紹介した後、地域の名所や特産などをスライドで説明。竜山中の生徒は「6月にヒマワリの種をまき、生徒たちで育て8月に開花した」と話した。

今後は竜山中の道徳の授業や、桃生中の東日本大震災に関する授業をリモートで共有するという。生徒たちはヒマワリの種の交換や、避難所運営ゲームなどでの交流も提案した。

桃生中の阿部校長は「被災地同士、災害にまだ遭遇していない土地の人に命の大切さをつなげる役割がある。自分や未来の人たちの命を守るため、一人でも多く交流してほしい」とあいさつした。

生徒会長の2年阿部さん(14)は「被災への考えを共有し、被害を減らすために何ができるのかをまとめ、広げていきたい」と語った。

2022.10.19(水曜日) 19時49分配信 仙台放送より

「ど根性ひまわり」つないだ縁 地震で大きな被害を受けた 石巻と兵庫の中学生が交流〈宮城〉

地震で大きな被害を受けた宮城県石巻市の中学生と、兵庫県中学生が、10月18日、オンラインで交流会を行いました。遠く離れた2つの地をつないだのは、津波に負けず石巻の地に咲いた「ど根性ひまわり」でした。

桃生中学校の生徒「趣味は読書で、最近本棚に本が入りきらなくて、困っています」18日、石巻市の桃生中学校で行われた交流会。画面の向こうにいたのは、兵庫県高砂市の竜山中学校の生徒たちです。



18日はオンラインで両校生徒の初めての顔合わせ。自己紹介をした後、パワーポイントなどを使いながら、学校や地域について、お互いに紹介しました。竜山中学校の生徒「兵庫県高砂市は暖かい気候に恵まれ、自然豊かな場所です。漁業・採石業、海岸部の工業地帯における各種製造業が盛んに営まれており、ブライダル都市としても知られています」

東日本大震災で大きな被害を受けた石巻市。阪神淡路大震災で大きな被害を受けた兵庫県。遠く離れた両校がつながるきっかけになったのは、東日本大震災の津波に負けず、がれきの中に咲いた「ど根性ひまわり」。兵庫県で「ど根性ひまわり」を広める活動をしている男性との縁で、交流を始めることになりました。竜山中学校では今年6月に「ど根性ひまわり」を校内に植え、8月には大きなひまわりが開花しました。

桃生中 阿部生徒会長「同じ被災した地域とつながって、このように交流をしていくきっかけができて非常にうれしいです」大きな震災の被害を乗り越えつながった石巻市と兵庫県中学生。今後は両県の震災を題材に防災について考えるオンライン授業などを行う予定で、生徒同士の交流を深めていくということです。

11月2日 11時58分 河北新報より

「全力で挑戦」 桃生中3人、石巻市民交響楽団定演に参加 あす

3日に石巻市開成の市複合文化施設(マルホンまきあーとテラス)で開かれる石巻市民交響楽団定期演奏会に同市桃生中(生徒178人)の総合文化部吹奏楽班の3人が出演する。桃生地区の郷土芸能「はねこ踊り」から着想を得て作曲された「桃生に伝わる舞『はねこ幻想』管弦楽版」の演奏に加わる。

〈定期演奏会に参加する桃生中の(左から)三浦さん、菊地さん、佐藤さん〉

出演するのは2年の佐藤聡介さん(13)と菊地咲菜実(さなみ)さん(14)、1年の三浦大輝さん(12)。バスドラムやシンバル、鉄琴などを演奏する。



「はねこ幻想」は関西地方の音楽家らでつくる「関西音楽人のちから『集（つどい）』」の井村誠貴代表（52）が作曲した。東日本大震災後に各地でチャリティーコンサートを開くなど復興支援を続けている。

10月30日には吹奏楽班の3人と市民交響楽団、寺崎はねこ踊り保存会のメンバーと井村代表が学校に集まり合同練習した。3人は「井村さんの指揮は分かりやすかった。本番も楽しく、全力で挑みたい」と意気込んだ。同交響楽団には、同中3年で元吹奏楽班の阿部圭春美（かすみ）さん（14）も所属し、フルートを演奏する。

井村代表がはねこ幻想を手がけたのは、桃生中の生徒を招待した2016年の大阪市でのチャリティーコンサートを前に、同校で生徒たちのはねこ踊りを見たのがきっかけ。自ら指揮を執って石巻で披露するのは今回が初めて。

「おはやしをよく知る地元の人たちにも『あっ、はねこだ』と思ってもらえるように作った。オーケストラ版の『はねこ』を楽しんでほしい」と話した。

演奏会は午後1時開場、午後2時開演。当日券1000円。

11月3日(木曜日) 18時53分配信 ミヤギテレビより

石巻市桃生地区 伝統のはねこ踊りを管弦楽で伝える



文化の日の3日、石巻市では桃生地区の伝統の「はねこ踊り」が管弦楽にアレンジされ、地元の桃生中学校の生徒と交響楽団が披露しました。伝統の舞いを音楽にして地元で披露した生徒たち。地域の文化を伝えていくことに思いを新たにされた様子でした。

ニュースの映像はこちら <https://www.mmt-tv.co.jp/nnn/news105ma4n2h8fv917ub19.html>

11月7日(金曜日) 全校植栽活動 実施

校舎前と中庭の花壇の花の植え替えを行いました。全校生徒で分担して作業を行い、美しく花が植替えられました。ご来校の際にはぜひご覧ください。



11月 9日（水曜日） 「進路実現のとき」 来る！！

3年生対象の進路説明会を実施いたしました。3年生の保護者の皆様、ご協力ありがとうございました。進路関係では12月1日（月曜日）から8日（木曜日）には三者面談があります。全学年対象となりますので、進路や学習、学校生活についてご相談いただければと思いますのでこちらもご協力をお願いいたします。



11月11日（金曜日） 学んだことを生かして

防災学習で学年ごとに取り組んだ内容を他学年にプレゼンテーションする授業を行いました。1年生は、新聞紙を使った防災グッズの作り方について、2年生はシャツや風呂敷を利用した応急処置の方法について、3年生は、避難所設営についてそれぞれ発表しました。3年生は中学校の防災倉庫にある仮設トイレや仕切りを組み立て、ストレスのない避難所を設営する様子などについて、1,2年生に説明した上、ユニークな「防災クイズ」を出題し、楽しく学べる工夫をしていました。



避難所用の仕切りです

11月21日（月曜日） 目指せ10%UP

12月13日（火曜日）に第2回「石巻市標準学力調査」が行われます。生徒の皆さんの学力を分析して、その後の学習に生かす意味で実施されるものです。4月に実施された自分の得点から、10%以上向上させることを合言葉にしています。本年度は、授業に一生懸命に取り組んでいる桃生中学生が、授業が分かって漠然と思うだけでなく、授業で学んだことが「できる」ようになることを目指しています。令和4年の締めくくりに向けて、勉強を頑張ります。

↓職員室前の学習スペース「みやぎ単元ライブラリー」問題も完備



11月22日（火曜日） 石巻市学力向上プラン「基本的な生活習慣の確立のための声掛け」

本校の今年度の合い言葉でもある「一人一人の無限の可能性を育む」の最も大切な「誰一人取り残さない」学力向上のための石巻市学力向上プランが全家庭に配布されました。など、ぜひ参考にしてください。（詳細は「学校から」の『「誰一人取り残さない」学力向上』をご参照ください）

石巻市学力向上プラン
「誰一人取り残さない」学力向上
第Ⅰ期「学力」に対する意識改革(R4～R6)

これまでの学力のイメージ

- ・教科書の内容を覚える
- ・ペーパーテストの点数を上げる勉強
- ・与えられた課題に取り組む

意識改革

これから求められる学力のイメージ

- ・学習した知識・技能を活用する
- ・夢を叶えるための勉強
- ・自分に必要な勉強に進んで取り組む

新しい時代を生きる子どもたちに必要な力

- ◇自分の考えをもち、自分の言葉で表現できる力
- ◇学んだことを、周りの人たちのために使おうとする力
- ◇時間の使い方を自分で調整できる力

そのためには…

子どもたちは学習意欲向上 学校は授業改善 家庭では基本的な生活習慣の確立

基本的な生活習慣の確立のための声掛けポイント

ご協力をお願いします。

理想の姿	これまで	これから
学習した知識を活用する	<ul style="list-style-type: none"> ・勉強しなさい! ・本を読みなさい! 	<ul style="list-style-type: none"> ・今日習ったこと、説明してみて。 ・この間読んでいた本の内容を教えて。
自分に必要な課題に取り組む	<ul style="list-style-type: none"> ・宿題はやったの? ・分からないとこ教えるから持ってきなさい! 	<ul style="list-style-type: none"> ・今日、家でどんな勉強することにしたの? ・タブレットドリル、一緒にやってみようか。
自分で時間調整ができる	<ul style="list-style-type: none"> ・早く起きないと遅刻するよ! ・ゲームばかりしてるけど、勉強は? 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分で起きられたね! すごい! ・今日の計画は、どれくらいできたの?

子どもたちの学ぶ力の向上のために一緒に取り組んでいきましょう!

石巻市学力向上プランでは、「誰一人取り残さない」をキーワードに、生涯に渡って学び続ける「主体的な学習者」を育成します。そのため、今年度から期間を3年ごとに3期設定し、それぞれに目標を掲げました。目標達成に向けて、学校と家庭が連携を深め、これからの時代を生きる子どもたちに必要な学力を身に付けさせたいと思いますので、ご協力をよろしくお願いいたします。

第Ⅱ期「石巻スタイル」の確立(R7～R9) 第Ⅲ期「主体的な学習者」の育成(R10～R12)
石巻市教育委員会

11月25日（金曜日） ボランティア活動 大盛況!!

昨年度から宮城県警察と連携して取り組んでいる「アルカス」(児童生徒健全育成ボランティア)の活動の充実のため、臨時生徒総会で承認されたボランティア委員会の最初の活動が実施されました。私たち桃生中生の活動をいつも優しく見守ってくれている学校地内外のある樹木の落ち葉を昼休み時間に集めました。ボランティア委員会が呼び掛けたところ、48名、生徒の約30%が参加し熱心に活動しました。さすが、「福祉の町 桃生」だと感心させられました。



11月25日（金曜日） 日本一持ち帰る!! ジュニア五輪出場へ 2022年11月25日（金曜日）「石巻かほく」より

12月25日に大阪中央体育館で開幕するJOCジュニアオリンピックカップ第36回全国都道府県対抗中学バレーボール大会の県代表に、石巻市の中学校から男子選手3人が選ばれた。「出場メンバー全員の力で日本一を宮城に持ち帰りたい」と意気込む。

県選抜メンバーに選ばれた（左から）若山選手、山口選手、大森選手 練習に取り組む3人



選出されたのはミドルブロッカーの大森惇平選手、セッターの若山椋選手（ともに桃生3年）、山口瑠偉選手（蛇田3年）の3人。学校は違うが、「中総体などで顔を合わせる機会も多く互いを知っている。いいライバル関係」と笑顔で話す。

県代表はエントリー制で、1次と最終選考を勝ち抜いたメンバー12人が選ばれる。練習は9月から始まり、毎週4日程度実施してきた。平日は古川中や仙台商高を会場に基礎中心に取り組み、土日は仙台商高、東北高のバレー部と練習試合を重ねてきた。

大森、若山両選手は全国大会に出場するのは今回が初めて。左利きの大森選手は攻撃の幅を広げることや、プロ選手らの動画を見ながらブロックの位置の研究をしてきた。「親や監督の支えのおかげで続けてこられた。練習の成果を結果で出す」と意気込む。

若山選手は体幹トレーニングのほか、指先の感覚を鍛えるため、自宅でも意識してボールを持つことを続けてきた。「コンビネーションを組み立てることが得意。メンバー12人全員のかで日本一を取り、宮城に帰ってきたい」と話した。

山口選手は小学2年生からバレーを始め、現在はクラブチームにも所属している。今年9月に開かれた全国ヤングバレーボールクラブ男女優勝大会3位に入賞した。「ジャンプサーブとバックスが自分の持ち味。小学生の頃から県選抜メンバー入りが夢だった。悔いの無い試合をして、笑顔で帰ってきたい」と語った。

11月30日（水曜日） 美術室が「和菓子屋さん！！」

3年生の美術の授業で、それぞれが作製した「和菓子」の発表会がありました。今回の授業では、実際に和菓子を作っている方のお話をお伺いするとともに、「本物に触れた」後に粘土で作製し、装飾しました。どれもが創意工夫を生かした作品です。和菓子の下に置く、和紙もそれぞれの生徒が作品に合わせて選んだものです。本校の美術室は、配膳室通路ともなっているため、給食の準備に訪れた1・2年生からは、「すごい」「本物」「食べてみたい」との歓声があがりました。どれかが商品として発売されないでしょうか？

そんなわくわく感が伝わってきます。





12月01日（木曜日） アシュリー先生ありがとうございました

2学期の途中から、急遽、本校のALTとなったアシュリー先生の最後の授業が行われました。欧米人の年末の姿に仮装しながら、英語のクイズを通して世界中の文化について学ぶことができました。全ての学級で実施された授業は、大いに盛り上がりとともに、英語でのコミュニケーション力を深めることができました。

また、生徒はアシュリー先生が日本語で言った数字をホワイトボードにかく姿を見て、アシュリー先生が日本語を理解できる力を持っていることを初めて知り、驚きの声が上がりました。残念ながら、アシュリー先生の桃生中学校での授業は本日で最後となりましたが、子どもたちは、英語で学ぶことへの興味・関心を大いに高めることができたことは間違いありません。来週から新たに赴任されるALTの先生と桃生中生との良き出逢いを楽しみにしています。



12月01日（木曜日） 朝からパッピー！！

ALTのアシュリー先生が赤い帽子をかぶって元気に職員室に入ってこられました。職員室がパーッと明るくなりました。アシュリー先生が着替えを終えると早速、子どもたちと英語で会話を始めました。プレゼントを受け取った子どもたちには、満面の笑顔が広がりました。



12月02日（金曜日） 三者面談 ありがとうございます

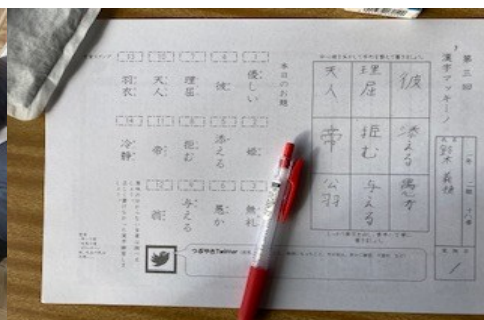
保護者の皆様には師走の大変お忙しいところ,昨日より始まった三者面談のためご来校いただき,感謝申し上げます。3年生にとっては,いよいよ将来の自分の生き方を決める進路実現に向けた選択の時期となりました。本人とご家族のお話し合いをもとに,今後何十年も続く輝かしい未来のため,学級担任をとおして,桃生中学校の全職員が応援していきたいと思えます。この面談をきっかけに,3年生が少しでも不安を解消し,自分の進路実現のため,自信を持って取り組んでいけるよう,全力で支援していきます。

また,1・2年生は,生徒や保護者の方からお話をお伺いすることが最大の目的です。「こんなことは・・・」と思われることでも構いません。限られた時間となりますので,継続してご相談いただければ幸いです。保護者,ご家族と学級担任,学校が連携を取り合いながら,子どもたちを支援できますよう,どうぞよろしくお願いいたします。



12月02日（金曜日） 「学びの偽装（授業崩壊の新傾向）の打破」を目指して

今朝の職員打合せで,「学びの偽装—授業崩壊の新傾向」(東京大学の佐藤学 名誉教授,『内外教育 2022年11月29日号』)が話題となりました。伝統的な一斉授業(教師の話をじっと聞いているだけ,いわゆる「講義形式」)を行っている教室では,ほとんどの子どもが学びの偽装(一見すると「落ち着いている」ように見えるが,学びから逃走しているという意味で「学級が崩壊」している)を行っている。このような教室では,子どもの学習権を教師が奪うことになるので,1時間1時間の授業の質を更に高めていくことが必要になりました。1時間目の授業をのぞいてみると,子どもの興味・関心を高め,生徒の学びを深める手立てが感じられる授業がありました。



12月05日（月曜日） いよいよ冬が来ました

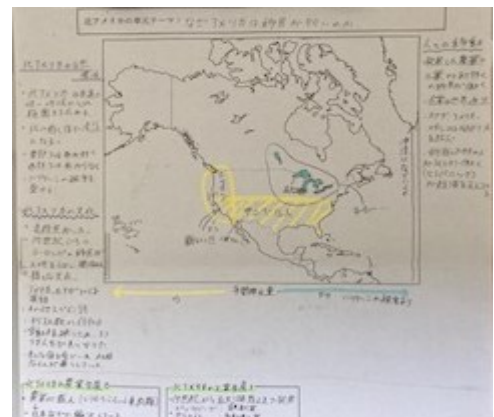
この冬は寒暖の差が激しく、今日はとても寒い朝となりました。そんな中、桃生中生は、手を真っ赤にしなが、自転車で登校しています。「おはようございます」と元気に挨拶する生徒がさすがにいます。



12月06日（火曜日） アメリカの産業からの学び・・・

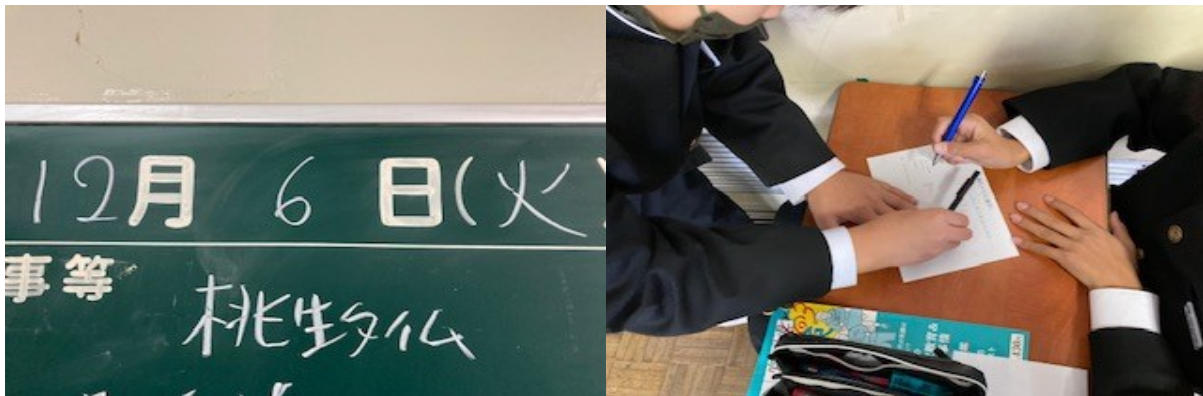
午前中は粉雪が舞い、厳しい寒さとなりました。

1年生社会科の授業では、「アメリカ合衆国の産業」について学んだことをそれぞれがプリントにまとめていました。自動車やハイテクなどとともに、トウモロコシや大豆の生産額が世界有数であるとのグラフを作成している生徒もいました。「トウモロコシや大豆と桃生の関係は？」との問いに、仙台牛や桃生ポークの飼料となっていることに気がついた生徒がいました。「えさ代が値上がりしている理由は？」ウクライナとロシアの戦争の影響？と、どんどん学びが深まってきました。



12月06日（火曜日） “桃生タイム”

10月より、朝読書の時間を活用し、毎週1回朝自習として、各教科の問題演習を「桃生タイム」として実施しています。全校同一問題で、それぞれが自分で考えた後、解き方が不安だったり、分からなかったりした生徒が課題を解決しようと生徒同士で教え合っています。石巻市では、学級のよりよい人間関係づくりをねらいとしたMLA（マルチレベルアプローチ）を小学校1年生から実施しており、中学校入学時には互いに教え合うことが「当たり前」となっています。普段の授業でも、このような場面を意図的に教員が設定することが、生徒の自ら学ぶ意欲を高め、「分かった」から「できた」と生徒が実感できる授業を目指しています。



12月07日(水曜日)「読書量の増加」→「学力の向上」

文部科学省が毎年、小学6年生と中学3年生で実施している「全国学力・学習状況調査」では、子どもたちの生活実態も調査しています。それらの分析の一つの例として、河北新報に次のような記事がありました。

『「新聞をどれくらい読んでいますか」の問いで、「ほとんど、または、全く読まない」子どもと、「ほぼ毎日読んでいる」子どもとでは、平均正答率が全国の小学校で11.3ポイント、中学校で9.3ポイント高い結果です。また、読書を毎週30分以上読むことを続けると、同様の結果となっており、これらは毎年同じ傾向となっています。』(河北新報 12月6日19面より)

本校でも連日、朝読書を行っています。あくまでも「朝読書の時間の読書」です。生徒が自分で自由に使える時間に、自ら進んで本を読んだり、新聞を読んだりする意欲を育み、習慣として身に付け、やがて「学ぶことの喜びや楽しさを自ら求めていく」ことの習慣化を目指しています。

桃生中生が、自ら毎日新聞を読んだり、読書をしたりするようになると、今学期の全校生徒が目標とする「前回の試験から10%UP」に、より近づくことができると考えています。



12月07日(水曜日)新たなALTの自己紹介にうなずき、反応できる3年生

最終日の授業で全校生徒に感動の体験を残したALTのアシュリー先生に代わって、今週からアサー・ジャレット・ウィートリー先生が着任されました。

3年生の初めての授業では、アメリカ合衆国出身、ふるさとのユタ州はソルトレイクなどの大自然に恵まれている、家族の紹介、北海道で4年間ALTとして勤務していた、馬刺しなど日本食が大好き等の自己紹介がジャネット先生からありました。その後、生徒が先生への質問をペアで考え、ジャレット先生がとてもユーモア一杯に答えてくださいました。

約15分の間、英語での会話のやりとりとなりましたが、3年生はジャネット先生のお話にうなずいたり、ジョークに即、反応したりしていました。私も一緒にいたのですが、聞き取ることができませんでした。「継続は力なり」学び続けることの偉大さを実感しました。



12月08日（木曜日） 誰一人取り残さない学習支援を

保護者の皆様には三者面談のため、ご来校いただき感謝申し上げます。

桃生中学校のほとんどの生徒は何事にも一生懸命に取り組み、中学校 3 年間を通じて大きく成長しています。一方、真面目で、熱心な学習態度ですが、授業で学んだことが定着することが難しいと感じている生徒もいます。

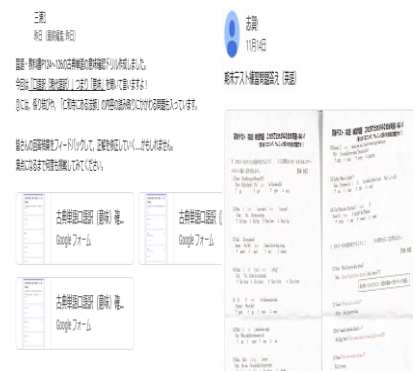
そのため、毎時間の授業では、学習内容が「面白そう」と感じられ、自分のために身に付けたいと意欲を高め、自ら学んでいけるような生徒を育てるため、研修を積みながら、授業改善に取り組んでいます。

また、生徒が学んだことを振り返ることができるよう、各学年の教室や職員室前の廊下には、毎時間の授業内容を振り返ることができる学習プリントを次の写真のように準備しました。

子どもたちの学習面でも大きな課題の一つが、中学生になると、「何を勉強すれば分からない」ということです。進路説明会（3 学年対象）でも「職員室前にある『みやぎ単元ライブラリー』の問題を小学 1 年生からやってみよう」と、学校から提案させていただきました。ご家庭でもお声がけいただけますよう、よろしくお願いします。

12月08日（木曜日） 個別最適な学習を目指して

桃生中学校の生徒にも全国の公立小中学校と同様に、一人一台のタブレット端末が配布されています。ICT 機器が日常生活の中で必須のツールとなる中で、ようやく日本の公教育でも取り入れることができるようになりました。様々な最先端の技術が使われ始めたとき、いつも最初に話題になるのは、それらがもたらす負の影響です。それらの課題を解決しつつ、人類の生活は変革してきました。学校、家庭、地域が共に情報活用モラルを子どもたちに教えながら、一人一人の学習の進み具合に応じた学習ができるような授業を目指しています。次の写真は、タブレット端末を通じた、家庭学習の一例です。



12月09日（金曜日） 学びを止めない 新型コロナウイルス感染症予防

先月から宮城県内の新型コロナウイルス感染症の感染者の増加傾向が続いています。子どもたちは感染予防を確実に実施していますが、現時点では、いつ、誰が感染しても不思議ではない状況となっています。学校でのクラスター（集団感染）をなんとかしても防ぎ、桃生中学校の教育活動を止めることなく、子どもたちの学びの機会を継続していきたいと願っています。

なお、先日配布致しました、石巻市教育委員会からの「新型コロナウイルス感染症再拡大に伴う対策について（お願い）」の抜粋を以下に掲載致します。ご家庭でもご協力をお願い申し上げます。

1 学校の感染症対策

- ・手洗い・手指消毒と場面に応じたマスクの正しい着用（不織布マスクの推奨）
- ・密集の回避と常時喚起の徹底
- ・児童生徒等の健康観察（登校時、部活動前、必要に応じて）

2 給食時の対応について

給食時は、座席配置の工夫や適切な換気の確保等の措置を講じた上で、児童生徒の会話を行うことも可能となりますが、現座、「みやぎ医療ひっ迫危機

宣言」が発令されておりますので、地域の実情や学校の感染状況に応じて適切に対応をしていきます。

3 ご家庭へのお願い

- ・登校前の家庭での検温や健康観察等、家庭内における感染予防・感染対策をお願いいたします。また、お子さまや同居のご家族にかぜ症状等がある場合は、登校を控えるようお願いいたします。
- ・お子さんの習い事や学習塾、友人との集まり等での感染にも気を付けるようお願いいたします。
- ・感染症対策の一つとして新型コロナウイルスワクチン接種があります。オミクロン株対応のワクチン接種により、1 重症化予防 2 感染予防 3 発症予防 の効果が期待されます。ワクチン接種につきましては、各家庭の判断となりますが、個々の状況に応じながらワクチン接種をご検討いただきますようお願いいたします。

新型コロナウイルスワクチン（オミクロン株対応ワクチン）の接種に係る知事説明動画

県公式ホームページ：<https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/covid19v/corona-vaccine.html>

石巻市 HP (<https://www.city.ishinomaki.lg.jp>) からワクチン接種の予約ができます。

12月12日（月曜日） 子育てでの疑問や不安はありませんか？

私も二人の子どもの親ですが、「子育てでの疑問や不安は何ですか？」と問われると、子どもの年齢によって異なり、また同じ兄弟姉妹でも全く異なることを親になって初めて知りました。

今年度の家庭教育学級では、臨床心理士としてご活躍されている高橋 麻衣 先生から「思春期の子育てについて」と題してお話をお伺いします。

高橋先生は、お二人のお子さんの子育てまっただ中です。また、東日本大震災後の石巻市内の小・中・高等学校の児童・生徒や保護者の相談に長年係わってこられた、宮城県内のエキスパートです。

今回のお話をきっかけに、お子さんとの関わり方について今一度立ち止まって考えることが始まる保護者もいるかもしれません。また、高橋先生の優しいお人柄に触れ、東部教育事務所（石巻市あゆみ野五丁目7番地）での教育相談（毎週1回、木曜日）で、直接お話を聞いていただいたり、相談したりしてみようと感じられる保護者の方もいるかと思われます。事務所での相談したことは守秘義務であり、学校等への報告はありませんので、お気軽に、どんどん、ご相談ください。今回の家庭教育学級が、お子様の成長を促すため、保護者の皆様の悩みや課題の解決に向けたきっかけとなり、次につながるような講演会となることを希望しています。

なお、今回の家庭教育学級への参加を新たに希望される方で、学校へのご連絡がまだの保護者は、会場準備のため、桃生中学校の教頭（電話 76-4122）までご連絡ください。

石巻市立桃生中学校「家庭教育学級」（PTA対象）の開催について（案内）

1 日時
令和4年12月16日（金） 13:15～14:05（13:00受付開始）

2 当日の日程
8:45～12:15 授業参観（フリー参観）

13:00 家庭教育学級 受付 会場：2階多目的室

13:15～14:05

講演会「思春期の子育てについて」

講師 宮城県東部教育事務所専門カウンセラー

高橋 麻衣 先生

14:20 学年PTA懇談会

1学年：音楽室（北校舎2階）

2学年：2年学習室（南校舎3階）

3学年：多目的室（南校舎2階）

15:00 学級懇談会



12月12日（月曜日） 残り10日となりました

熱中症対策が必要だった中で始まった2学期の学校生活。文化祭や合唱コンクール、新人大会などの学校行事で大いに成果を残すことができました。また、先週まで実施された三者面談をとおして、それぞれの生徒のこれまでの生活や学習を振り返るとともに、保護者の皆様から貴重なご意見をいただくことができました。お忙しい中、ご参加いただきましたこと改めて感謝申し上げます。

子どもたちは、日に日に寒さが増している中、始業時間前に登校し、自ら学習をしている姿が多くなってきています。

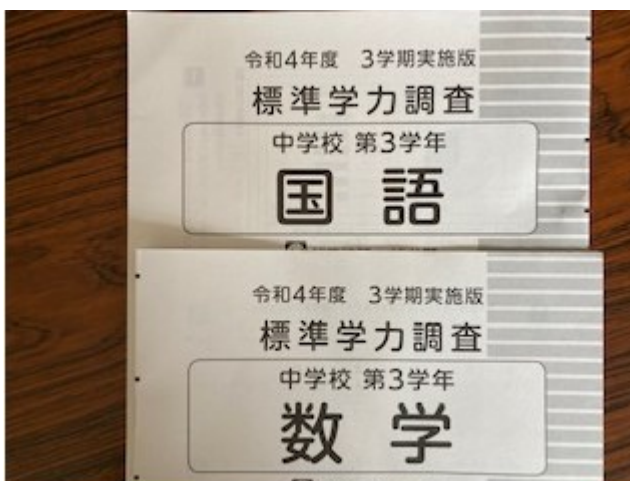


12月13日（火曜日） 「第2回石巻市標準学力調査」実施

本日、全学年で、国語と数学の第2回目の標準学力調査がありました。

今年度の授業で学んだことがどれくらい自分で使いこなすことができているかを確認するためのテストです。国語と数学の教科担任はもとより、学級の一人一人の生徒の毎日の学業指導を担っている学級担任にとっても、これまで約9ヶ月間の成果が試されるものです。

本年度、本校では、4月に行われた前回の調査から、それぞれが「10%以上UPする」を合い言葉にしてきました。「10%」と聞くと何となくできそうですが、学習は、毎日の積み重ねこそが重要です。今回のテストの振り返りを次の授業で行うとともに、目標を超えた生徒はこれまでの取組みを更に続けるよう励ましていきます。残念ながら目標クリアをできなかった生徒には、1月にある実力テストに向けて、教科担任や学級担任等が対策を考え、個別の支援を行っていきます。ご家庭でもお声掛けをお願い致します。



今年度の授業で学んだことがどれくらい自分で使いこなすことができているかを確認するためのテストです。国語と数学の教科担任はもとより、学級の一人一人の生徒の毎日の学業指導を担っている学級担任にとっても、これまで約9ヶ月間の成果が試されるものです。

12月13日（火曜日） より良い授業を目指して

私たち教員は毎日、授業を実施しています。

学級にいる全ての子どもが、「分かった」「できた」「学ぶのは楽しい」など感じるように、1時間の「授業」を実施するためには、2時間かけて準備し、実施後に約1時間、子どもたちの学習の振

り返りなどを分析します。より良い授業づくりについては、自分で学ぶだけではどうしても限られた視点になるため、日本では「研究授業」として、自分の授業を他の先生に記録していただき、客観的に振り返りながら、校内での授業力向上を目指しています。また、参観した先生も研究授業から学んだことを自分の授業に取り入れながら、より良い授業を目指しています。桃生中の生徒は授業にとっても一生懸命に取り組むことができます。それだけに、より良い授業づくりを一層深めていきたいものです。

12月14日（水曜日） 「マチコミ」 ご好評です

大変恥ずかしながら、時代の流れから周回遅れになっていた桃生中の「情報発信」。今週から無料連絡網サービス「マチコミ」の運用を開始しましたが、早速、保護者の方から、「とてもいいですね」と、ありがたいお言葉を賜りました。

今後も改善を続けながら、「桃生中学校の今」「生徒の様子」をお伝えします。また、毎月の行事予定、学校便り、学年便りなどに加え、「当日の急な下校時間の変更」なども「マチコミ」を通じてご覧いただけるようにしていきたいと考えています。更に、「マチコミ」の様々な機能も活用していく予定です。

保護者以外のご家族の皆様などにもご登録いただくと、更に利便性が高まると考えますので、関係者の皆様へ、下記の情報をお伝えいただけますよう、よろしくお願い致します。

「学校だより」（「マチコミ登録手順書」）がお手元にない場合は、下記の手順でご登録ください。

1 下記 URL をタップし登録画面に移動してください

<http://docsv.machicomi.jp/appinstall/index.htm>

2 登録画面に従って、アプリのダウンロードと登録手続きを行ってください。

その際、下記の「登録用メールアドレス」を使用いたしますので、登録する学年（今年度在籍の学年）のものを入力してください。

3 登録者の名前のお子さんの名前を括弧書きでご記入ください。

（例）登録者のお名前が「桃生太郎」、お子さんの名前が「花子」の場合
桃生太郎（花子）

4 なお、登録手順でご不明な点がございましたら、桃生中学校（76-4122）までご連絡ください。

〈登録用メールアドレス〉

1年生・・・tcpe7679@machicomi.jp

2年生・・・tcpe2268@machicomi.jp

3年生・・・tcpe8545@machicomi.jp

○ 生徒名が異なるなど、桃生中学校の関係者以外の登録は、事務局で削除いたします。
地域の方・・・12月13日に配布させていただいた「学校だより」をご参照願います。

日本最大級の学校向け無料連絡網サービス

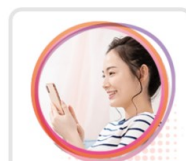


TOP マチコミとは 機能紹介 自治体・教育委員会の方へ 料金プラン サポート
お問い合わせ 広告掲載

選ばれ続けて **17年** 導入施設 **13,000** 以上
無料 で使える日本最大級の学校向け連絡網サービス

いますぐ無料プラン申込

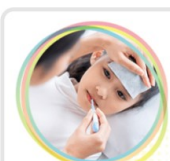
有料プラン機能 30日無料お試し提供中!



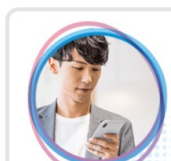
素早く確実に
保護者へメール連絡



バスの位置を管理
保護者と共有



欠席連絡の
オンライン化



外出先からも
アプリで簡単管理

12月15日(木曜日)まるでの英検2次会場

3年生の英語の授業で、3回目のスピーキングテストがありました。その内容は次のとおりです。

- 1 一人一人の生徒が、新しいALTの先生に紹介したい日本文化（衣食住）について英語で考える。
- 2 タブレットを使い、写真や図を示しながら、プレゼンテーションをする。
- 3 生徒の紹介を聞いたALTが英語で質問する。
- 4 生徒は、質問された内容を理解し、英語で返答する。

数十年前受験した英語検定の2次試験での口頭質問を思い出しました。

緊張しながら話す生徒が多かったですが、寿司や餅などの日本食の紹介など、これまでの学習の成果が大いに感じられました。



12月15日(木曜日)1年数学の研究授業

1年数学で、「正多面体の性質を見だし、説明しよう」をねらいとした研究授業がありました。生徒は3辺が磁石になっている具体物を使い、正多角形の模型を作り、頂点や面、そして辺の数を記録していきました。その結果から、どのような性質があるのかを考えました。一人で自力解決しようとする生徒や、ペアやグループで作業するなど、それぞれが工夫して取り組んでいました。



12月16日(金曜日)雪が積もる朝となりました

粉雪が舞い散る朝。子どもたちは元気に登校しています。

午前中は新型コロナウイルス対策の観点も考慮し、フリー授業参観となります。8学級の授業、全てが参観可能です。ぜひ、それぞれの学級の個性、そして、1年生から2年生、そして3年生を確実に成長している桃生中生の学びの姿をご覧ください。ただただなら幸いです。



12月16日(金曜日)ぜひご覧ください

生徒が2学期に教科の授業や学級活動、総合的な学習の時間等で取り組んできたことが、各箇所に掲示してあります。

まず、1階昇降口には、石巻市総合防災訓練の一環として実施した各地区の危険箇所・避難所での防災学習のまとめがあります。全校生徒の力作で、今後地域の方にもご紹介したい内容です。

北校舎に向かう通路は、昨年度からスタートした「桃生中ギャラリー」で、美術の作品が展示されています。北校舎1階は家庭科コーナーです。

2階多目的ホールには、10月に保護者の方にも公开发表した合唱コンクールの総合的な学習としての取組の歩みが掲示してあります。

更に、各学級の廊下等には、班会議や学級プログラム委員会の話合いの記録などがあります。是非ご覧ください、お子様の活動を賞賛していただけますようお願い申し上げます。



12月19日(月曜日)新年に向けて

先週の金曜日に実施されました授業参観、家庭教育学級、そして学年・学級PTAにご参加いただき、ありがとうございました。

生徒は、2学期のまとめを終え、冬休みの計画や新年への目標を立てる時期となりました。また、先週実施された2回目の石巻市学力調査(国語・数学)の自己採点を行っています。「前回より10%アップ」の目標を達成できたかどうかそれぞれが楽しみにしています。また、これまでの自分の家庭学習を振り返り、1月に実施される実力テストに向け「何を」「どのようにすればいいのか」を明確にした学習計画

を考えて実践できるよう,教科担任と学級担任が連携して,それぞれの生徒への支援を行っています。冬休みは,ご家庭でもお声掛けいただけますようお願いいたします。



12月19日(月曜日)防犯キャンペーン実施-桃生中アルカス

河北警察署主催で,振り込み詐欺などの被害防止と啓発を図る防犯キャンペーンが上品の郷で実施されました。この活動に桃生中アルカスとして,ボランティア委員会の1・2年生が参加しました。上品の郷に買い物に来た方への啓発活動で,最初は戸惑っていましたが,次第に他校の中学生と同じように積極的に活動することができました。



12月20日(火曜日)多くの学びがあった.家庭教育学級

12月16日,PTAの家庭教育学級がありました。臨床心理士の高橋先生から「思春期の子育て」について,お話をいただきました。私が心に残ったお話は次のとおりです。

1 思春期にある中学生は,体と心が大きく成長する時期で,「自分とは何か」を考え,大人や社会の理不尽さを理解できるようになる時期。「もう中学生」と「まだ中学生」の「両価性の時期」で,相反する価値を抱えている。一人一人の子どもによって異なるので,「子育てには,答えがない」2 中学生は,なぜ「もやもやするのか」は,外見は大人に見えるが,感情を言葉にする力が途中なので,「うっせー」「うぜー」などと発しているだけ。いわゆる「反抗期」は,子どもたちは反抗しているのではない。本当は何が言いたいのか,子どもの気持ちを理解することが大切。

3 仲間を意識する時期。家は,安心できる場所。しかし,思春期の子どもたちは,家族に迷惑をかけたくないと思う。そのため,身近な人だから相談できず,悩んでいることも多い。その際は,様々な相談機関で,専門家に話を聴いてもらうことが重要。「こんなことで相談していいのだろうか」と悩まず,まずは,

電話で相談してみてもいいでしょうか。(高橋先生の勤務している相談窓口は電話 0225-95-7949です。平日の8時30分から17時15分)

参加された保護者の皆様からは、次のような貴重な感想等をいただきました。

- 1 子どもの目線になって考えてみようと思えました。
- 2 反抗期のとらえ方を教えていただき、なんか納得できた気がしました。
- 3 どうはなしたら良いのかタイミングが分からなかったのですが、今日教えていただいたことをやってみたいと思います。
- 4 子育てで、日頃感じていることを学べてとても参考になりました。
- 5 思春期の子どもについて悩んでいましたが、今日のお話を聞いて、「子育てには答えがない」ことや沢山の知識を学び取れました。



12月21日(水曜日)啾啄同時

本校では毎月「学校生活アンケート」を実施しています。1ヶ月間の自分や、学級・学年での生活を振り返ることを主な目的に、選択形式で選び、最後に「1ヶ月の生活を振り返って」という自由記述があります。今月のアンケートで「一人一人が成長できたと思います。(中略) これらをずっと続けたいです。」という記述がありました。数日後、その生徒の保護者が忘れ物を持ち来校されたので、アンケートの記述にととても感心したことをお伝えしました。すると保護者の方から、「今のままの自分ではダメだと気がついたようです。自分の将来の生き方を、多くの選択肢から選んでほしいと願い、そのように自分自身で気付くのを待っていました。先日の三者面談や進路学習を通じて、そのことに気付いたことをうれしく思います。」とお話しいただきました。幼児期は親や大人から指示されたことをそのまま実践していることが多くあります。一方、自我がめばえる思春期からは、自分自身で考え、判断し、実行しようとしたことでないと継続することも、まして多くの成果を得ることも次第に難しくなってきます。アンケートに「自分で成長できた」と実感できた生徒には、絶えず見守り、その子どもに今に応じてお声掛けいただいているご家族の大切さを痛感しました。この生徒も、きっと、そのことに気付き始めているのだと思いました。



12月21日(水曜日)充実した校外学習

1年3組と3年3組,3年6組の校外学習が実施されました。一人一人が自分でJRの切符を購入したり,スペインタイルを作成したりと,盛りだくさんの活動がありました。学校とは異なる環境での学習でしたが,それぞれが最後まで集中して取り組み,皆で協力しながら,楽しく,とても充実した1日をつくりあげました。笑顔一杯の一日となったことに感謝します。

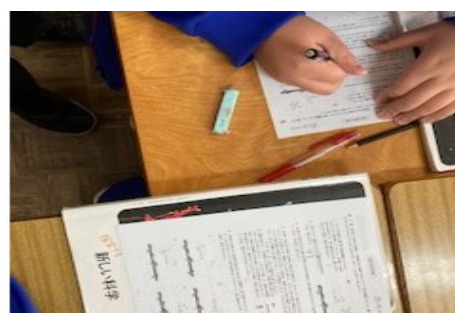


12月22日(木曜日)学んだことを振り返る

今月は2学期の「授業で学んだことの振り返り」が各教科で行われています。

1年美術では,ペットボトルのラベルをデザインし,飲み物の色に着色した水を入れ,作品の鑑賞会が行われました。「ペットボトル」という身近な日用品をデザインすることで,今までとは異なる視点を得ることができたようです。

3年理科の授業では,授業で学んだことを生かして,様々な問題演習を行っていました。考査試験や実力テストの問題とはことなり,物理や化学などの分野ごとに焦点化された問題だったこともあり,最後まであきらめることなく解答することができたようです。この経験をぜひ,冬休み以降の家庭学習に生かしてほしいと思います。



12月22日(木曜日)日高見希望塾「書きぞめ練習会」

12月28日(水曜日)と1月5日(木曜日)の2日間、桃生中学校で「書きぞめ練習会」を開催します。「日高見希望塾」とは、授業等で学んだことを復習したり、更に深めたりしたい生徒に学習する機会を提供する試みです。今回は、桃生地区在住の菅原玲子先生が講師として、生徒のご指導をいただくことになりました。1・2年生にとっても部活動が終了した時間帯の実施となります。年末年始の慌ただしい時期の開催ですが、登下校の安全に気をつけながら、奮って参加してほしいと思います。

令和4年度 日高見希望塾より NO. 16 2022.12.22 (木)	
石巻市立桃生中学校 日高見希望塾	
【塾生募集要項16】	
1. 講座名	書きぞめ練習会
2. わらわ	<ul style="list-style-type: none"> 書家の学習を重点的に行い、美しい字を書けるようになる。 氏名の部分も美しく書けるようになり、作品全体の質を向上させる。 石巻地区書きぞめ展に出品し、入賞を目指す。
3. 活動予定 など	<ul style="list-style-type: none"> 令和4年12月28日(木)13:00~15:00 令和5年1月5日(木)13:00~15:00 両日とも会場は美術室で行います。 地域でお習字教室をやられている、菅原先生が両日とも指導にいらっしゃいます。より専門的なご指導を受けるチャンスです。
4. 備考	<ul style="list-style-type: none"> 用具は自分で用意してください。 嵐で停電があるかもしれません。ジャージで参加してください。 履服、毛織どちらを練習しても構いません。(どちらも練習してもいいです)。
5. 担当者	国語科(千葉先生、三浦先生) (希望者は、担当の先生に申し出ること。) <small>※ 参加するかどうかは、あなた次第。途中でやめてもOKです。</small>



12月23日(金曜日)2学期終業式

79日間の第2学期も今日で終わりとなります。2学期の本校の教育活動に、保護者やご家族、地域の皆様はじめ、多くの皆様にご支援とご協力を賜り、本当にありがとうございました。それぞれの学年で特に成長を感じたこと、冬休みの過ごし方、今後期待することについては、各学年の学年便りに掲載いたしましたのでご覧ください。

終業式では、サッカーワールドカップの日本対スペイン戦での「1-1で迎えた後半6分、堂安選手のクロスがゴール横のラインを割ると思われましたが、三笥選手がギリギリのところ(1.88ミリメートル)で左足でボールを蹴り戻し、それを田中選手がゴールに入れ込みました」について考えてみました。

サッカー会場の縦105メートルの中でのわずか1.88ミリメートルにかけた三笥選手。そして、必ずボールが来ると信じ走り続けた田中選手。両選手とも強い信念があり、決してあきらめなかったから生まれた得点、勝利です。それとともに、夢を実現するため技術を磨く練習等を積み重ねてきた結果でもあります。新しい年を迎えるにあたり、一人一人の桃生中生が大きな夢や希望を抱いてほしいのです。一人一人には無限の可能性が 있습니다。あなた自身の無限の可能性を發揮するため、あなたは、17日間の休みに何をしますか。178名が大きな夢と希望を持ち、元気に1月10日(火曜日)の始業式で逢えるのを楽しみにしています。



日高見希望塾「英会話」(12月28日)



本校に来校した根木慎志さんの講演会(12月27日)